

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月3日

上場会社名 スズキ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7269 URL <http://www.suzuki.co.jp/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 鈴木 修

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小林 聖慈

TEL 053-440-2030

四半期報告書提出予定日 平成21年8月6日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	577,143	36.6	6,861	79.7	12,569	72.3	2,138	91.8
21年3月期第1四半期	910,405		33,797		45,434		26,033	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	4.92	4.30
21年3月期第1四半期	57.72	50.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	2,164,125	784,235	31.0	1,542.36
21年3月期	2,157,849	742,915	29.6	1,471.20

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 670,363百万円 21年3月期 639,432百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		8.00		8.00	16.00
22年3月期					
22年3月期 (予想)					

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期(予想)配当金は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期									
連結累計期間	1,100,000	36.0	0		0		0		0.00
通期	2,300,000	23.5	10,000	87.0	20,000	74.9	5,000	81.8	11.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	542,647,091株	21年3月期	542,647,091株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	108,013,371株	21年3月期	108,012,692株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	434,634,063株	21年3月期第1四半期	451,051,851株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.業績見通しについては、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき算出したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に円/米ドル相場、円/ユーロ相場)などが含まれます。

業績予想の前提となる条件等については、5ページ[定性的情報・財務諸表等]「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2.平成22年3月期の配当予想につきましては、今後の業績や財務状況等をさらに見極める必要があり、現時点では未定です。予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

・当期の経営成績

当第1四半期連結会計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、昨年来の金融危機による景気の急激な悪化からアジアを中心に持ち直しに向けた動きもみられたものの、依然世界経済は欧米を中心に深刻な状況にあります。国内においては、輸出および生産において一部回復の兆しも見られましたが、極めて低い水準で推移しており回復といえる状況には至っておらず、引き続き厳しい経済環境が続いております。

このような状況下、当第1四半期連結会計期間は、国内外での販売数量減、及び円高による為替変動の影響等により、連結売上高は5,771億円（前年同期比63.4%）と前年同期を下回りました。連結利益の面でも、売上減少、為替影響による減益を、原価低減、諸経費・減価償却費・研究開発費の減などで吸収出来ず、営業利益は69億円（前年同期比20.3%）、経常利益は126億円（前年同期比27.7%）、四半期純利益は21億円（前年同期比8.2%）と減益となりました。

【事業の種類別セグメントの業績】

（二輪車）

世界経済の悪化に伴い、国内外での販売が減少するとともに、円高による為替変動の影響等もあり、二輪車事業の売上高は809億円（前年同期比50.6%）となりました。利益面でも、売上減少や為替影響による減益を、諸経費の減などで吸収出来ず、29億円の営業損失となりました。

（四輪車）

国内では、全体需要が減少しているなか、軽自動車では、「アルト誕生30年記念車」、小型車では燃費を改善し環境対応車普及促進税制に適合させた「スイフト1.2L（2WD/CVT車）」を発売するなど商品力の強化をはかり拡販に努めましたが、国内売上高は前年同期を下回りました。一方、海外では、「A-star」、「Ritz（日本名スブラッシュ）」など新型車を投入したインド、廃車買換え奨励制度の効果等のあったドイツ、イギリスなど、一部の国では販売数量が増加しましたが、世界経済悪化の影響は大きく、世界各地で販売数量は前年同期を下回りました。さらに、円高による為替変動の影響等もあり、海外売上高は前年同期を下回りました。その結果、四輪車事業の売上高は4,892億円（前年同期比66.9%）となり、営業利益についても、売上減少、為替影響による減益を、諸経費の減などで吸収出来ず、70億円（前年同期比28.1%）と減少しました。

（特機等）

特機等事業の売上高は、世界的な船外機の需要減少などにより、120億円（前年同期比62.0%）となり、営業利益についても、13億円（前年同期比40.1%）と減少しました。

（金融）

金融事業の売上高は150億円、営業利益は9億円となりました。

【所在地別セグメントの業績】

(日本)

売上高は、北米、欧州など海外向けの売上減少に加え、国内売上も減少したことにより、3,310億円（前年同期比62.6%）となりました。利益面でも、売上減少や為替影響による減益を、諸経費の減などで吸収出来ず、20億円の営業損失となりました。

(欧州)

景気後退による販売減、及び円高による為替変動の影響等により、売上高は1,093億円（前年同期比49.8%）と減少しましたが、営業利益は諸経費の減などにより、18億円（前年同期比96.7%）と若干の減少にとどまりました。

(北米)

金融危機に端を発する景気悪化、信用収縮による販売減少により、売上高は471億円（前年同期比46.4%）となり、利益面についても、42億円の営業損失となりました。

(アジア)

円高による為替変動の影響により、売上高は、1,773億円（前年同期比83.5%）と減少しました。こうした中で、インドのマルチスズキ社は、「スイフト」、「スイフト デザイア」の好調に加え、「A-star」、「Ritz」の投入により前年同期比増収増益となりました。その結果、アジアの営業利益については、112億円（前年同期比133.4%）と増加しました。

(その他の地域)

売上高は、アフリカで増加したものの、大洋州や中南米での減少により、141億円（前年同期比61.8%）となり、営業利益についても、売上減少や為替影響による減益を、諸経費の減などで吸収出来ず、4億円（前年同期比44.1%）と減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は2兆1,641億円（前連結会計年度末比63億円増）、また、負債の部は1兆3,799億円（前連結会計年度末比350億円減）、純資産の部は7,842億円（前連結会計年度末比413億円増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは538億円（前年同期比354億円減）の増加となり、投資活動では有形固定資産の取得など243億円（前年同期比460億円減）の資金を使用しました結果、フリー・キャッシュ・フローは295億円（前年同期比106億円増）のプラスとなりました。財務活動では長期借入の実施などにより、319億円（前年同期比611億円増）の資金が増加しました。

その結果、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は4,932億円となり、前連結会計年度末に比べ654億円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

各国での自動車販売は引続き厳しい状況が続いていますが、当社グループは一丸となってあらゆる分野での改革に取り組み、連結決算での黒字化を目指してまいります。

なお、平成21年5月11日に公表いたしました業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも変更はありません。

(連結業績予想)

売上高	2兆3,000億円	(前期比 7,048億円減)
営業利益	100億円	(前期比 669億円減)
経常利益	200億円	(前期比 597億円減)
当期純利益	50億円	(前期比 224億円減)
為替レート	1米ドル = 90円、1ユーロ = 115円	

通期の見通しについては、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき算出したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に円/米ドル相場、円/ユーロ相場)などが含まれます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

採用した簡便な会計処理のうち、重要なものはありません。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。なお、法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額を一括し、法人税等として表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事契約については工事進行基準を、その他の工事契約については工事完成基準を適用しています。

これによる当第1四半期連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	146,490	136,915
受取手形及び売掛金	227,182	249,289
有価証券	390,379	343,503
商品及び製品	234,203	252,255
仕掛品	23,226	23,620
原材料及び貯蔵品	46,137	48,664
その他	194,746	217,457
貸倒引当金	3,796	3,915
流動資産合計	1,258,570	1,267,790
固定資産		
有形固定資産	597,075	588,962
無形固定資産	2,214	2,483
投資その他の資産		
投資有価証券	143,724	121,631
その他	166,630	181,050
貸倒引当金	1,100	1,054
投資損失引当金	2,991	3,014
投資その他の資産合計	306,264	298,612
固定資産合計	905,554	890,058
資産合計	2,164,125	2,157,849
負債の部		
流動負債		
買掛金	319,739	368,811
短期借入金	382,026	399,010
1年内償還予定の転換社債	29,605	29,605
未払法人税等	8,457	6,285
製品保証引当金	56,419	57,371
その他	202,681	224,037
流動負債合計	998,928	1,085,121
固定負債		
新株予約権付社債	149,975	149,975
長期借入金	158,459	102,757
退職給付引当金	40,980	42,090
その他の引当金	8,616	10,024
その他	22,929	24,966
固定負債合計	380,960	329,813
負債合計	1,379,889	1,414,934

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	120,210	120,210
資本剰余金	138,142	138,142
利益剰余金	733,998	735,337
自己株式	241,879	241,878
株主資本合計	750,471	751,812
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,662	2,309
繰延ヘッジ損益	799	324
為替換算調整勘定	90,971	114,364
評価・換算差額等合計	80,108	112,379
少数株主持分	113,872	103,482
純資産合計	784,235	742,915
負債純資産合計	2,164,125	2,157,849

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	910,405	577,143
売上原価	695,114	445,720
売上総利益	215,291	131,422
販売費及び一般管理費	181,493	124,561
営業利益	33,797	6,861
営業外収益		
受取利息	7,518	5,316
受取配当金	1,546	779
持分法による投資利益	2,233	-
その他	4,334	3,731
営業外収益合計	15,633	9,827
営業外費用		
支払利息	2,725	2,139
持分法による投資損失	-	792
その他	1,272	1,186
営業外費用合計	3,997	4,119
経常利益	45,434	12,569
特別利益		
固定資産売却益	191	94
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	191	94
特別損失		
固定資産売却損	59	113
特別損失合計	59	113
税金等調整前四半期純利益	45,566	12,550
法人税等	13,222	4,905
少数株主利益	6,310	5,507
四半期純利益	26,033	2,138

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	45,566	12,550
減価償却費	38,297	29,281
受取利息及び受取配当金	9,065	6,096
支払利息	2,725	2,139
持分法による投資損益(は益)	2,233	792
売上債権の増減額(は増加)	603	29,602
たな卸資産の増減額(は増加)	53,334	29,677
未収入金の増減額(は増加)	-	27,172
仕入債務の増減額(は減少)	36,515	55,605
未払費用の増減額(は減少)	16,794	14,150
その他	701	397
小計	107,598	54,967
利息及び配当金の受取額	8,952	5,519
利息の支払額	2,855	1,351
法人税等の支払額	24,517	5,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,177	53,799
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,124	11
定期預金の払戻による収入	417	10,265
有価証券の取得による支出	2,059	1,492
有価証券の売却による収入	2,091	1,668
有形固定資産の取得による支出	49,757	36,022
有形固定資産の売却による収入	812	1,130
無形固定資産の取得による支出	402	53
投資有価証券の取得による支出	20,170	200
その他	133	366
投資活動によるキャッシュ・フロー	70,326	24,348
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	23,241	21,739
長期借入れによる収入	-	57,158
長期借入金の返済による支出	2,122	47
配当金の支払額	3,609	3,474
少数株主への配当金の支払額	176	26
その他	33	59
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,182	31,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,785	4,044
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	13,117	65,424
現金及び現金同等物の期首残高	456,369	427,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	443,252	493,221

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	二輪車 (百万円)	四輪車 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	159,796	731,174	19,434	910,405	-	910,405
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	159,796	731,174	19,434	910,405	-	910,405
営業利益	5,881	24,771	3,145	33,797	-	33,797

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	二輪車 (百万円)	四輪車 (百万円)	特機等 (百万円)	金融 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	80,877	477,746	11,114	7,405	577,143	-	577,143
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	11,501	929	7,618	20,048	(20,048)	-
計	80,877	489,247	12,043	15,023	597,192	(20,048)	577,143
営業利益 又は営業損失()	2,882	6,966	1,262	937	6,283	577	6,861

(注) 1 事業の区分は、市場及び販売方法の類似性に内部管理上採用している区分を加味した方法によっています。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
二輪車	小型二輪自動車、軽二輪自動車、原動機付自転車、バギー
四輪車	軽自動車、小型自動車、普通自動車
特機等	船外機、雪上車用等エンジン、電動車両、住宅
金融	販売金融等

3 事業区分の方法の変更

従来、事業を「二輪車」「四輪車」「その他」の3区分としていましたが、前第2四半期連結会計期間より、当社グループの事業内容をより明瞭に示すため、金融事業を区分しています。また、「その他」の事業内容を「特機等」としています。

なお、前第1四半期連結累計期間は従来の方法によっています。従って、前第1四半期連結累計期間は、変更後の方法によった場合に比較して、売上高については「四輪車」において6,537百万円、「金融」において15,057百万円、「特機等」において25百万円減少し、「消去又は全社」において21,545百万円増加しています。また、営業利益については「金融」において961百万円減少し、「四輪車」において245百万円、「消去又は全社」において678百万円増加しています。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	358,601	218,842	100,798	209,284	22,878	910,405	-	910,405
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	170,077	630	741	2,995	-	174,444	(174,444)	-
計	528,679	219,472	101,539	212,280	22,878	1,084,850	(174,444)	910,405
営業利益 又は営業損失()	18,170	1,878	3,227	8,401	820	26,043	7,754	33,797

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	239,954	106,828	46,647	169,573	14,140	577,143	-	577,143
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	91,028	2,498	467	7,690	0	101,684	(101,684)	-
計	330,982	109,326	47,114	177,263	14,140	678,828	(101,684)	577,143
営業利益 又は営業損失()	2,031	1,816	4,159	11,207	362	7,195	(334)	6,861

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 欧 州 …… ハンガリー、英国、ドイツ
- (2) 北 米 …… 米国、カナダ
- (3) ア ジ ア …… インド、インドネシア、パキスタン
- (4) その他の地域 …… オーストラリア、コロンビア

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	257,899	104,178	225,175	80,509	667,762
連結売上高(百万円)					910,405
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	28.3	11.4	24.7	8.9	73.3

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	112,588	48,390	177,329	31,379	369,688
連結売上高(百万円)					577,143
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.5	8.4	30.7	5.4	64.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……ハンガリー、英国、ドイツ

(2) 北米……米国、カナダ

(3) アジア……インド、インドネシア、中国

(4) その他の地域……オーストラリア、コロンビア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

【売上の内訳】

(単位:数量 千台未満切捨て、金額 百万円未満切捨て)

		前第1四半期 連結累計期間 (20.4.1~20.6.30)		当第1四半期 連結累計期間 (21.4.1~21.6.30)		比較増減	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
二 輪 車	国内	35	10,965	24	7,270	11	3,695
	海外	462	148,830	270	73,606	191	75,223
	欧州	59	52,859	27	21,331	31	31,527
	北米	43	37,275	29	23,199	13	14,075
	アジア	311	37,292	191	20,901	120	16,391
	その他	47	21,402	22	8,174	25	13,228
	計	498	159,796	295	80,877	202	78,919
四 輪 車	国内	184	227,020	150	188,514	34	38,505
	海外	450	504,154	343	289,231	106	214,922
	欧州	115	198,551	68	88,717	47	109,833
	北米	33	62,187	10	22,398	23	39,788
	アジア	258	186,551	245	155,575	12	30,976
	その他	44	56,863	19	22,539	24	34,324
計	635	731,174	493	477,746	141	253,427	
特 機 等	国内	-	4,657	-	4,277	-	379
	海外	-	14,777	-	6,836	-	7,940
	欧州	-	6,488	-	2,525	-	3,962
	北米	-	4,715	-	2,792	-	1,923
	アジア	-	1,331	-	853	-	478
	その他	-	2,242	-	665	-	1,576
計	-	19,434	-	11,114	-	8,320	
小 計	国内		242,643		200,063		42,580
	海外		667,762		369,674		298,087
	欧州		257,899		112,575		145,323
	北米		104,178		48,390		55,787
	アジア		225,175		177,329		47,846
	その他		80,509		31,379		49,129
	計		910,405		569,738		340,667
金融				-	7,405	-	7,405
合計		910,405		577,143		333,262	